

## デジタルマルチメータ(最大5台接続用) R6552/T/T-R

使用できる機種 R6552, R6552T, R6552T-R

R6552, R6552T, R6552T-Rは、ADC社の商標です。

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-R65525-R	ラトックシステム	<b>240,000円</b>	Win7/8.1/10/11 (32bit or 64bit) Excel2010/13/16 2019/2021 (32bit Only)
W32-R65525-N	NI社		

### 機能



#### ・データロガーとしての活用

指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。最大200,000回までのデータが連続して取り込めます。取り込み可能なマルチメータの数は1台から最大5台までの任意台数です。また、全ての測定器を外部トリガモードにすることにより、同時サンプリングが可能です。

#### ・製品検査への活用

被測定物を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取込みます。

#### ・LONG-IT機能のサポート

10msから60sまでの任意の積分時間が設定できます。

#### ・バースト測定波形の取込

バースト測定されたR6552の内部メモリデータをExcelシートに取込み、同時に作図も行なえます。データ取込時間は、1000個のデータの場合、おおよそ下記のとおりです。

測定(4.6sec) + パソコン受信(12sec) + Excel入力(8.6sec) + 作図(6.4sec)

#### ・対応機種リストに無い測定器のデータも受信できます。(外部測定器)

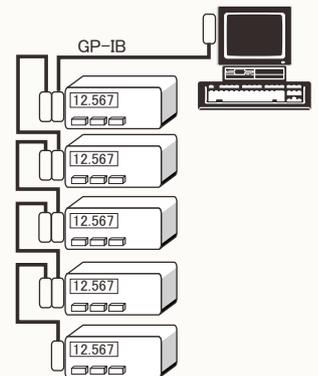
外部測定器を含めると、全10台までの測定器のデータの取り込みが行なえます。

### 概要

スタートすると、ファンクション・測定レンジ・サンプリング速度を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することができます。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現れます。ファンクション、測定レンジ、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。※本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。なお、バースト測定では、10,000個までのデータ取込を行なうとともに、その波形を自動的に作図することができます。



### 操作説明

測定器からデータの取込を開始します。「PAUSE」を先に押してから「START」を押すとスポット測定モードになります。

測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。

設定する測定器を選択します。

測定に使用する測定器にチェックします。

測定ファンクションを設定します。

測定レンジをAUTO/MANUALで切替えます。AUTOのチェックを外すとレンジ入力用テキストボックスが現れますからレンジをキーボードから入力します。厳密な値を入力する必要はありません。入力された値が一番近い1つ上のレンジに設定されます。

測定値に演算処理を行います。(次頁参照)

測定値をExcelへ入力する時の単位を設定します。「実値」は、測定ファンクションにより「V」「A」または「Ω」の単位での入力を意味します。

測定器の型式を設定します。

測定器本体で設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。



データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると取込を再開します。

データの取込を停止します。

「スポット測定」中、有効となり、クリックする毎に、1つ前の測定値を削除します。再測定のために使用します。

「PAUSE」中、有効となり、クリックする毎にデータを取込みます。スポットモードでは、データのサンプリングに使用します。

トリガモードを設定します。

「FREE RUN」は、測定中もFREE RUN状態を保持します。

「HOLD」は、測定時間毎にパソコンがR6552にトリガを送信します。R6552はHOLD状態になります。「外部トリガ」はR6552のリアアの「TRIGGER」からのトリガによるサンプリングを行いません。全てのR6552を「外部トリガ」に設定して測定を開始すると、外部トリガにより全ての測定器の同時測定が可能です。

「BURST」は、R6552のバースト測定を行ないます。まず、測定器の測定条件を自動的に設定し、バースト測定が完了するのを待ち、バースト測定終了とともに測定結果をExcelシートに取込みます。

必要なら測定データの自動作図を行ないます。

「BURST」が選択されると条件入力画面が表示されます。(次頁参照) 再度、バースト測定条件を入力するためには、一旦、別条件を選択した後、再度「BURST」を選択します。「BURST」は、1台目のR6552だけが設定可能です。

サンプリング速度を設定します。「LONG-IT」を選択すると、100から60,000msの間の任意の積分時間を入力できます。

複数の台数のデータ受信を行なう場合、受信と同時に測定値をExcelシートに入力します。データが確定した順にExcelシートに入力されます。チェックが付いていない場合は、全ての測定器のデータを受信後、一括してデータをExcelシートに入力します。